

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：3/18～3/22

・ 3/18(月)

留学生の 700 人が行方不明に、日露交渉、JOC 竹田会長が辞意表明になどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、留学生の 700 人が行方不明に、については検証者の所感を記しました。

・ 3/19(火)

JOC 竹田会長が退任を表明、児童虐待防止法改正案の閣議決定、辺野古基地問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、JOC 竹田会長が退任を表明については検証者の所感を記しました。

・ 3/20(水)

共生隣の外国人、景気全体の判断を下方修正、ゴーン被告初公判 9 月にも、被爆者がローマ法王と対面、厚生労働省の武田康祐賃金課長が韓国で拘束、英国メイ首相が EU 離脱先送りを申し入れなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、共生隣の外国人、景気全体の判断を下方修正については放送法上問題と考えられる場面が見られました。

・ 3/21(木)

イチロー選手引退、統一地方選などについて報じられました。これら例示したトピックのうち統一地方選について放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。統一地方選については一部で印象操作の疑いのある場面が見られました。

・ 3/22(金)

「南北共同連絡事務所」北朝鮮が人員を撤収、ノーベル平和賞最年少受賞のマララさん初来日、ふるさと納税などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月18日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：留学生の700人が行方不明に、日露交渉、JOC 竹田会長が辞意表明に		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニューヨークの銃乱射事件 ・ オランダの路面電車で発砲事件 ・ 留学生の700人が行方不明に ・ 内田裕也さん（79）死去 ・ 日露交渉 ・ JOC 竹田会長が辞意表明に ・ レオパレス施工不備問題 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> ニュー YORK の銃乱射事件 留学生 700 人が所在不明に 千葉県野田市の小 4 死亡事件で父親を四回目の逮捕 カンボジアの殺人事件で 20 代日本人男性を逮捕 オリンピックおじさんが逝去 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生の700人が行方不明に：結論→特に問題なし <p>現在の日本におよそ146万人あまりいる外国人労働者の2割に当たる29万人は実は留学生で、その留学生を数多く受け入れている東京福祉大学で留学生が相次いで所在不明となっていることがわかったとのが取り上げられていた。VTR 中では東京福祉大学では3年前から留学生が急増、今では全体でおよそ5000人に登り早稲田大学に次ぐ多さであること、東京福祉大学は2016年度から正規の留学生とは別に研究生の募集をはじめこれまでの三年間に正規の留学生の6倍を超えるおよそ5700人が入学していること、東京福祉大学の学費は1年間のコースで60万円ほどでこの三年間で学費収入はおよそ12億円増えているとのが報じられた。また、取材に対して東京福祉大学が「留学生を増やすという国策に沿ってやっている。日本語学校を出ても受け入れ先がないという現実があり研究生の受け入れは感謝されている。」とコメントしていたことが伝えられた。</p> <p>また、留学生を巡っての以下に朱記した国会答弁が取り上げられていた。</p> <p>石橋通宏(立憲民主党議員)「過去三年間でなんと1300人以上の留学生が、これ全部研究生ですけども、これ、行方知れずです。」</p> <p>柴山昌彦(文科相)「文部科学省、法務省双方で把握している情報について情報共有を行い早急に実地調査を行ってまいります。」</p>		

さらに、専門家の見解として指宿昭一弁護士の「留学生を研究生の形でたくさん入れることで、大学が稼げる、儲かるということを東京福祉大学では考えたんだと思います、日本に来て勉強するために留学するんじゃなくて、専門学校や大学に籍を置くことで、でも実際はそこでアルバイトをして稼ぐ、出稼ぎのために留学という在留資格を使っているこれは本来のあの、制度の目的とは反していると思います。」という見解が紹介されていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮塔子「こちらは日本にやってきた外国人留学生の数なのですが、この10年ほどで急増してまして、間もなく30万人に達するという勢いなんです。」

星浩「そうですね、出発点は2008年に当時の福田総理が30万人計画というのを打ち出しました、で30万人に届くような勢いなんです、まあ国際貢献の柱と言う位置づけでスタートしたんですね。」

雨宮塔子「実際はその国際貢献とはかけ離れていますよね。」

星浩「理念とはかけ離れた形になってまして、労働力不足を補う役割を果たしている面もありますよね。やっぱりその留学生を増やすには語学、基礎的な語学を勉強してもらって、とかですね、大学の整地とか教員とか環境を整備することが大事なんですけれども、かなり立ち遅れているっていう感じですよ。まあこの東京福祉大学の問題はこの留学生の問題がはらんでいる氷山の一角という感じですよ。」

このトピックに当てられた時間は561秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日露交渉：結論→特に問題なし

ロシアの有力紙が報じたプーチン大統領と経済界の非公開会合で、プーチン大統領は日露平和条約締結交渉が本当に行き詰まったのか、との問いに対し『交渉は速度を失った』と応えたこと、さらに「日本が日米安保条約から離脱しなければならない」との発言もあったということが伝えられた。また、安倍総理の「何れにせよプーチン大統領はシンガポールでの首脳会談において領土問題を次の世代に先送りすることなく、自らの手で必ず終止符を打つとの強い意志を共有している、ところでありました。政府としては領土問題を解決して平和条約を締結するとの方針のもとに引き続き粘り強く交渉をしていくとの考えであります。」という国会答弁も取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮塔子「北方領土問題でプーチン大統領が後ろ向きな発言ですがどう受け止めればよいのですか。」

星浩「そうですね、実は2月の末で安倍総理の公邸で重要な会談があったんですね、斎木さんと佐々江さんとか藪中さん、外務省の次官経験者とロシア問題の専門家と安倍総理が会食しましてね、北方領土問題は慎重に進めるべきだと、という意見が相次いだんですね、安倍総理もその話を聞いて、どうやらその慎重論の方に軸足を移しているということになってまして、ロシア側にもこの情報は伝わっているということなんじゃないかな。」

駒田健吾「首脳会談を重ねて機運が高まっているかのように見えたときもあったんですけど。」

星浩「この6月にはその合意の道筋が見えるはずだ、とかなり派手に打ち上げましたからね、安倍総理の方もね、ここに来てしぼんできているですからその経緯については国民にもきちんと説明する必要があると思います。」

このトピックに当てられた139秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ JOC 竹田会長が辞意表明に：結論→特に問題なし

東京オリンピック招致を巡る疑惑で捜査対象となっている JOC 日本オリンピック委員会の竹田恒和会長、明日開かれる理事会で辞任の意向を表明する見通しであること、竹田会長の後任には全日本柔道連盟会長の山下泰裕氏の名前が上がっているとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 52 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・ 留学生の 700 人が行方不明に

VTR 中の東京福祉大学の「留学生を増やすという国策に沿ってやっている。日本語学校を出ても受け入れ先がないという現実があり研究生の受け入れは感謝されている。」というコメントや、スタジオで星キャスターが「出発点は 2008 年に当時の福田総理が 30 万人計画というのを打ち出しました」と言及から、国の政策との関連が指摘されていたが、そうであれば、留学生の受け入れに対してなにがしかの補助金なり税制優遇措置があるのではないだろうか、そうした問題に切り込めていなかった点はやや残念だった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月19日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：JOC 竹田会長が退任を表明、児童虐待防止法改正案の閣議決定、辺野古基地問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JOC 竹田会長が退任を表明 ・ 患者殺害事件の再審で無罪の公算大 ・ 公示地価が地方圏も 27 年ぶりに上昇 ・ ゲノム編集食品 ・ カンボジアで強盗殺人 ・ 児童虐待防止法改正案の閣議決定 ・ 辺野古基地問題 ・ ジュゴンの死骸発見 ・ オランダ発砲事件 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <p>JOC 竹田会長が退任表明 患者殺害事件の再審で無罪の公算大 東京都江東区のアポ電強盗殺人事件の容疑者が特殊詐欺の封筒と指紋一致 ピエール瀧容疑者がコカイン常用か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JOC 竹田会長が退任を表明：結論→特に問題なし <p>JOC 日本オリンピック委員会の竹田恒和会長が退任と JOC の会長退任だけでなく国際オリンピック委員会の委員を辞任すると表明したことが報じられ、VTR では以下に朱記した記者会見の様子も取り上げられていた。</p> <p>竹田恒和「来年の東京大会を控えてこのように世間をお騒がせしていることを大変心苦しく思っております。6月27日の評議委員会を持ちまして任期を終了し退任をすることといたしました。」</p> <p>ナレ「あくまで辞任ではなく退任。竹田会長は任期満了まで会長職を続け今年6月で退任します、退任の理由については。」</p> <p>竹田会長「今後の JOC の将来を思ったときにですね次代を担う若いリーダーがこの来年に迎える東京オリンピックで先頭に立って、そして時代を変えていくことがこのオリンピックをもっとも成功させるということだということを私は思ったのでその結論を出しました。」</p> <p>記者「ご自身でその火消しできないといいますか、疑惑を払拭、ご自身の力で払拭できないというふうな。」</p> <p>竹田「いや、辞職をし、もちろん払拭するつもりもありますし、私は不正なことをしたと思っていません、ですから潔白をしっかり証明をして、全力を尽くしていきたいと思っています。」</p>		

ナレ「自身にかけられている疑惑が退任の理由ではないとしました。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「JOCの竹田会長が6月の任期満了を持って退任することを表明しました、その退任の理由なんですがオリンピック招致を巡る贈賄疑惑とは直接関係ないと説明していますが、」

星浩「まあね、でも実際にはこの疑惑が原因だということは明らかだと思いますね、JOCの関係者によりますとやっぱりIOCの対応が非常に強硬で竹田さんの退任を強く求めているということですね。まあIOCはオリンピックの疑惑でいろいろ批判にさらされた経験もありましてね最近では透明性だとか説明責任というのに非常に神経質になっていますよね、今回のその竹田さんの問題も疑惑が深刻な上にね、説明が必ずしも十分ではなかったということ続投は困難だという判断に傾いたのだと思います。まあそのポスト竹田のJOCもね説明責任、透明性が求められるとおもいますね。」

駒田健吾「そして、先ほどですけれども竹田会長がIOC委員の辞任も表明したことについてですね、IOC国際オリンピック委員会は『オリンピック運動を守るためにとった一歩だ』、『オリンピック運動を守るためにとった一歩だ』との談話を発表しています。」

このトピックに当てられた時間は348秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・児童虐待防止法改正案の閣議決定：結論→特に問題なし

相次ぐ虐待死事件などを承け、親による体罰禁止を初めて明記した児童虐待防止法などの改正案が閣議決定されたこと、体罰について罰則規定は設けられていないが厚生労働省が今後定義の範囲を示したガイドラインをつくるということ、法案では他にも児童相談所が躊躇なく一時保護を行う介入強化も盛り込まれていて、政府は今の国会での成立を目指しているとのことが報じられた。

このトピックに当てられた時間は36秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・辺野古基地問題：結論→特に問題なし

沖縄のアメリカ軍普天間基地の辺野古への移設をめぐり玉城知事が安倍総理と会談し来週25日に開始すると通知している新たな区域への土砂投入の中止を求めたが安倍総理排泄作業を続行する考えを示したということが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は26秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・JOC 竹田会長が退任を表明

スタジオで星キャスターが「実際にはこの疑惑が原因だということは明らかだと思いますね、JOCの関係者によりますとやっぱりIOCの対応が非常に強硬で竹田さんの退任を強く求めているということですね。まあIOCはオリンピックの疑惑でいろいろ批判にさらされた経験もありましてね最近では透明性だとか説明責任というの

NEWS23 週刊報告 詳細版

に非常に神経質になっていますよね、今回のその竹田さんの問題も疑惑が深刻な上にね、説明が必ずしも十分ではなかったということ続投は困難だという判断に傾いたのだと思います。まあそのポスト竹田の JOC もね説明責任、透明性が求められるとおもいますね。」とコメントしていた。

また、VTR での記者の質問やナレーションなども、疑惑が黒であるかのような印象を与えるものになっていた。

今日の NEWS23 では奇しくも直後に患者殺害事件をめぐる再審が認められ再審では無罪となる公算が大きいとのニュースが取り上げられていたが、疑いをかけられて結果として潔白であったからと言って、疑いをかけられた人間が疑われてきた期間に失ったもののすべてを取り戻せるわけではない。疑惑を巡る報道についてはやはり、それなりの慎重さが求められるのではないだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

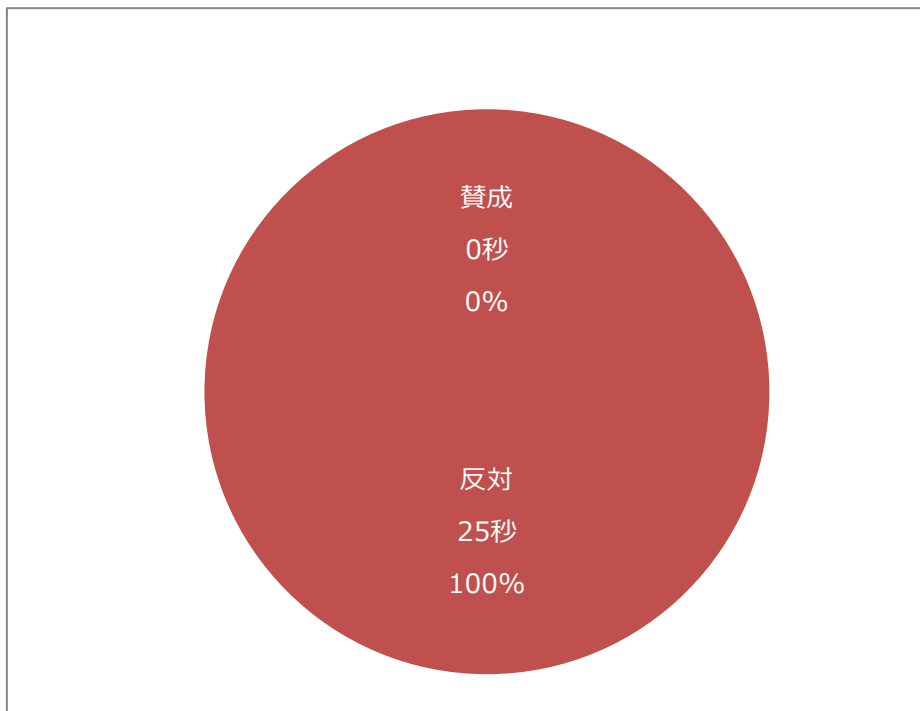
テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月20日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：共生隣の外国人、景気全体の判断を下方修正、ゴーン被告初公判9月にも 被爆者がローマ法王と対面、厚生労働省の武田康祐賃金課長が韓国で拘束 英国メイ首相がEU離脱先送りを申し入れ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取手中3自殺で県が報告書 ・地下鉄サリン事件から24年 ・共生隣の外国人 ・景気全体の判断を下方修正 ・裁判所前で女性が刺され死亡 ・ゴーン被告初公判9月にも ・スポーツ情報 ・23Today <p>取手中3自殺で県が報告書 地下鉄サリン事件から24年 被爆者がローマ法王と対面 厚生労働省の武田康祐賃金課長が韓国で拘束 英国メイ首相がEU離脱先送りを申し入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生隣の外国人→結論:報道法第四条第一項四号に照らし合わせると不十分 <p>外国人労働者の受け入れを拡大する新たな制度が来月から始まることを受けてのシリーズ放送。今回はミャンマーで日本企業の即戦力として10カ月で日本語を話す若者を育てるというJ-SATアカデミーで取材が行われた。同校では授業が毎日5時間プラス、テストと補修、さらに宿題が3時間分という日本語漬けの日々が送られる。また語学だけでなく、日本に行ったらすぐ働けるよう、ビジネスマナーも教え込まれ日本式のお辞儀の種類について、会釈、敬礼、最敬礼と状況に応じた角度の使い分けまで授業が行われていた。さらに同校では日本で働いた経験を持つミャンマー人の先生が日本人特有の曖昧な表現と、その裏にある心理までを解きほぐして教えており「日本人は曖昧なのではなくて相手の気持ちを考えているから曖昧になっているんですね。そこを分かってほしいです。日本に行ったらそういうことがいっぱいありますので、日本人は曖昧だ・・・もうっ！って思っちゃうとだめです。」と生徒たちに授業を行っている様子が報じられていた。この学校を創設した西垣充社長は「我々が作りたいのはリーダー。将来のミャンマーを担う人材。我々の学校から年間500人行けば10年経ったら5000人日本のことが好きで日本語がペラペラで日本のマネジメントもわかっている。そういう人が10年後20年後ミャンマーに帰ってきて5000人ミャンマーにいたら経済効果もすごい。」と述べていた。</p>		

これらを受けてスタジオでは星浩氏が「なにせ人手不足ですから、とにかくいろんな人に来てもらわないといけない。その態勢づくりをしなくちゃいけないですね。西垣さんのような試みがどんどん広がるといいんですが、介護の現場とかモノづくりとか、世界的にも取り合いになってますから 日本も相当工夫しないと負けてしまいますよね。」とコメントしていた。

報道全体を通して外国人材の受け入れに肯定的な内容であった。外国人材の受け入れについては国内でも賛否が分かれる論点であり報道法第四条第一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らし合わせると不十分であると結論する。なおこのトピックスの報道時間は591秒だった。

・景気全体の判断を下方修正→結論:放送法第四条第一項二号に抵触の恐れ

今日発表された月例経済報告での景気全体の判断について、これまでの景気は緩やかに回復しているという表現に輸出や生産の一部に弱さも見られるという表現が加えられ3年ぶりに下方修正されたことが伝えられたことについての報道。報道時間は166秒であった。このトピックスについて景気が緩やかに回復しているという政府の見解に肯定的な立場の意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ以下のような賛否の時間及び比率となった。



反対意見としては第一生命経済研究所の新家義貴主席エコノミストからの「正直かなり苦しい表現。横ばいすら維持できていないのではないかという見方が増えてきた。」とのコメントや雨宮キャスターの「この景気の減速基調を政府はどうとらえているんでしょうか？」という景気が減速基調であることを前提にした問いなどがあつた。賛成意見は皆無だった。一方的に政府の見解に否定的な意見を羅列した報道であり放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」に抵触する恐れがあると結論する。

NEWS23 週刊報告 詳細版

- ・ ゴーン被告初公判 9 月にも→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

日産自動車の前会長、カルロスゴーン被告の事件で東京地裁が今年 9 月にも初公判を開く方向で協議を進める考えを示したことについての報道。裁判所と検察、弁護士による三者協議が行われ、東京地裁は初公判の前に裁判の争点を絞り込む公判前整理手続を 5 月 23 日から始めることも決めた。この手続きにはゴーン被告も出席する意向だとのこと。このトピックスは 31 秒で特に問題点はなかった。

- ・ 被爆者がローマ法王と対面→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

ノーベル平和賞の授賞式で被ばく者として初めて演説したサーロー節子さんが、20 日、バチカンでローマ法王フランシスコと対面し核兵器の廃絶を訴えたことについての報道。報道時間は 26 秒で特に問題点はなかった。

- ・ 厚生労働省の武田康祐賃金課長が韓国で拘束→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

厚生労働省の武田康祐賃金課長が韓国のキンポ空港で航空会社の職員に暴行を加えた疑いで地元警察に一時拘束されたことについての報道。武田賃金課長は当時、酒に酔っていたと言い、厚労省は、事実上更迭する処分を発表したことも報じられていた。このトピックスは 25 秒で特に問題点はなかった。

- ・ 英国メイ首相が EU 離脱先送りを申し入れ→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

イギリスのメイ首相はEUのトウスク大統領に宛てた書簡で、EU離脱を 6 月 30 日まで先送りしたいと正式に申し入れた。21 日からのEU首脳会議で、イギリスを除いた加盟国すべてが賛成すれば決定となる。このトピックスは 18 秒で特に問題点はなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年3月21日															
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙 【ゲスト】佐々木主浩（野球解説者）																	
検証テーマ：統一地方選																	
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イチロー選手引退 ・イチロー引退会見 ・統一地方選 ・東京で桜の開花発表 ・GW10連休 ・中国の工場で爆発 ・家裁前で女性が刺殺 ・1000万円着服で女性が逮捕 ・スポーツ報道 ・【速報】イチロー選手引退 街の声 ・天気予報 																	
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一地方選→結論：放送法第4条の観点から問題なし。 <p>今回は国政にも影響を与える統一地方選の前半が始まったという報道について、特に大阪知事選が取り上げられる形で報道がされた。今トピックに当てられた報道時間は171秒で、経緯説明・吉村洋文氏・小西禎一氏・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>																	
<table border="1"> <caption>報道内容の時間配分</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経緯説明</td> <td>78</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>スタジオ解説</td> <td>64</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>小西禎一氏</td> <td>17</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>吉村洋文氏</td> <td>12</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	割合 (%)	経緯説明	78	46%	スタジオ解説	64	37%	小西禎一氏	17	10%	吉村洋文氏	12	7%
トピック	時間 (秒)	割合 (%)															
経緯説明	78	46%															
スタジオ解説	64	37%															
小西禎一氏	17	10%															
吉村洋文氏	12	7%															

報道の内容は以下の通り。

雨宮「国政の行方を左右する統一地方選挙。前半戦がスタートしました。」

駒田「中でも大阪は都構想の是非をめぐり、激しい戦いが繰り広げられることとなります。」

ナレーター「12年に1度、統一地方選と参院選が重なり、政局を呼ぶとされる亥年選挙。今日は前半戦として11の知事選挙が告示されました。北海道では与野党が全面対決する構図に。一方、福岡など4つの選挙区では自民党同士の候補者が争う『保守分裂』の異例の事態です。そして大阪では都構想の是非をめぐり、『維新』対『反維新』の戦いが始まりました。維新側は大阪維新の会公認で、前大阪市長の吉村洋文氏。」

吉村洋文「都構想を実現しようと思えば、僕から見てもものすごく高い山です。でも、その山に登ることを諦めた瞬間終わりじゃないですか。」

ナレーター「対する反維新側は自民・公明府本部推薦で、元大阪府副知事の小西禎一氏です。」

小西禎一氏「課題に全力で取り組むべき時に都構想議論に終始する維新府政はもう終わりにしようではありませんか。都構想 NO、維新府政 NO を突き付ける絶好の機会です。」

ナレーター「大阪府知事選は24日告示の大阪市長選と共に、来月7日に投開票されます。」

雨宮「この統一地方選と参院選が重なる亥年。政治に波乱が起きるんですよ。」

星「12年に1回あるんですけども、ちょうど12年前は安倍政権が第一次政権を作ったときなんですよ。その時にジンス通り安倍総理は統一選の後の参院選で敗れまして、それが退陣につながるわけですから、安倍総理としては今回がリベンジの参院選と捉えていまして、その参院選の前哨戦としての統一地方選挙だから敗れないという思いでしょうね。」

駒田「ただ、今日告示された知事選挙は保守分裂となる選挙が多いですよ。」

星「非常に珍しい状況ですよ。島根とか福井の保守王国でも分裂しているんですよ。それは、おそらくここ6年くらい安倍一強という政治が続きまして、どんどん保守が強くなっていまして、その主導権争いが続いていまして、それが保守分裂につながっているんですけども。この分裂の結果が後の参院選にも大きく関係しますので、自民党はそれを今一番心配しているところですよ。」

今回は放送法第四条の観点から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・統一地方選：結論→印象操作の疑いあり

スタジオでの星キャスターの「非常に珍しい状況ですよ。島根とか福井の保守王国でも分裂しているんですよ。それは、おそらくここ6年くらい安倍一強という政治が続きまして、どんどん保守が強くなっていまして、その主導権争いが続いていまして、それが保守分裂につながっているんですけども。この分裂の結果が後の参院選にも大きく関係しますので、自民党はそれを今一番心配しているところですよ。」という発言にはいささかミスリーディングな点が目立っていた。

島根県知事選挙では島根県の国会議員らが擁立した元自治官僚と島根県の県議会議員らが擁立した元自治官僚による保守分裂選挙であるが、そもそも島根県は民主党政権時代も含めて長らく「竹下—青木王国」と呼ばれていた地域であり、保守が強いというのもここ6年ほどの話ではなく、それこそ田中角栄の時代から一貫して島根県は竹下系の牙城である。そうした背景を鑑みると、「保守が強くなっている」というよりはむしろ「竹下派」

NEWS23 週刊報告 詳細版

あるいは「青木派」の影響力がかつてでは考えられないほど凋落している、という話ではなからうか。

また、福井県知事選挙は5選を目指す現職の元自治官僚と世代交代を掲げ挑戦する新人の元自治官僚という構図の選挙だったが、こちらも現職の側は2003年の初当選から4期16年の間知事職にあったわけであるから、せいぜいここ6年の話でしかない安倍一強とは比べ物にならない長期政権である。

もちろん政治記者として熟練している星キャスターのことだから、こうしたそれぞれの地域の事情は知った上でのコメントなのだろうか、それを知っていてなお、島根県や福井県の保守分裂選挙の原因が安倍一強の政治とそのもとで保守勢力が強くなったことにあると言わんばかりのコメントでは、保守分裂選挙と安倍政権が直結しているかのような印象を視聴者に与える恐れがあるといえる。

北海道の与野党全面对決、大阪での自民党から共産党までが反維新で共闘する選挙、島根や福井あるいは福岡のいわゆる「保守分裂選挙」など、それぞれの地域にはその地域に特有の事情や構図があるのだから、国政上の勢力図であるとか対立構図をそのまま引き写して地方選挙を語るのではなく、それぞれの地域の事情や勢力図あるいは対立軸に向き合い、またそうした点を視聴者に伝えた上でのコメントが必要であろう。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS テレビ	番組名： NEWS23	放送日： 2019年3月22日
出演者： 星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ： 「南北共同連絡事務所」 北朝鮮が人員を撤収、 ノーベル平和賞最年少受賞のマララさん初来日 ふるさと納税		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大リーグイチロー外野手引退、惜しむ声が続々… ・ 佳子さま 大学ご卒業 ・ 知的障害児が事故死、地裁で逸失利益が認められる ・ NGT48 暴行事件 運営会社側の会見内容に被害者の山口さんが不満のつぶやき ・ 中国の化学工場で大規模爆発 死者 47 人、重傷 90 人 ・ ピエール瀧容疑者にコカイン譲渡か 翻訳業の女性が逮捕 ・ 「南北共同連絡事務所」 北朝鮮が人員を撤収 ・ ノーベル平和賞最年少受賞のマララさん初来日 安倍首相と会談 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> 大リーグイチロー外野手引退 佳子さま 大学ご卒業 ふるさと納税 加圧シャツ業者 9 社に景品表示法に基づく措置命令 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「南北共同連絡事務所」 北朝鮮が人員を撤収：結論→特に問題なし 韓国統一省は今日、北朝鮮が南北共同連絡事務所から人員を撤収したと発表したとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・ ノーベル平和賞最年少受賞のマララさん初来日：結論→特に問題なし 女性が教育を受ける権利と訴え続けノーベル平和賞を史上最年少で受賞したマララ・ユスフザイさんが今日はいじめて日本を訪れ安倍総理と会談し、安倍総理に世界でリーダーシップを発揮し女性活躍の拡大や女子教育の推進するよう協力を求めたこと、マララさんは明日から東京で開かれる国際女性会議で基調講演を行うとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。 ・ ふるさと納税：結論→特に問題なし 石田総務相はふるさと納税寄付金が多額になった大阪・泉佐野市など 4 市町について、3 月分の特別交付税の配分額を減らしたと明らかにしたとのこと、ふるさと納税の返礼品を「寄付額の 3 割以下の地場産品」とする要 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

請を守っておらず事実上のペナルティとなるとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 25 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし